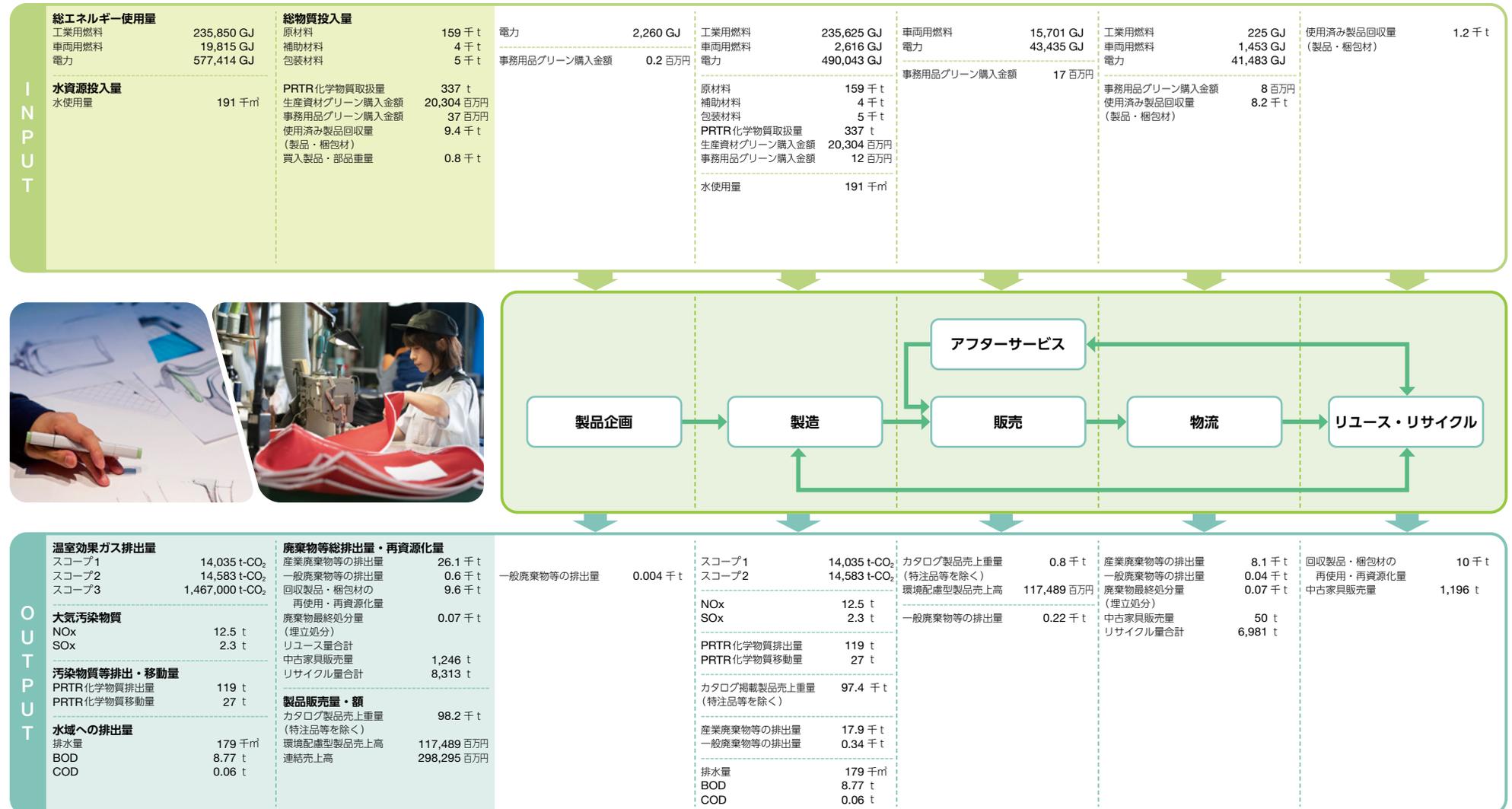


環境データ

オカムラグループの事業活動に伴う環境影響のバランス(2023年度)



気候変動への対応

検証欄の●印：2023年度データ第三者検証対象

CO ₂ 排出量	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	検証	GRI
スコープ1	t-CO ₂	15,213	14,605	15,003	13,840	14,035	●	305-1
エネルギー起源 二酸化炭素	t-CO ₂	15,010	14,448	14,836	13,698	13,800		
非エネルギー起源 二酸化炭素	t-CO ₂	203	158	168	142	236		
スコープ2	t-CO ₂	27,256	25,797	17,821	16,932	14,583	●	305-2
マーケット基準	t-CO ₂	27,256	25,797	17,821	16,932	14,583	●	
ロケーション基準	t-CO ₂	27,569	25,070	17,640	26,148	26,594	●	
スコープ1+2合計	t-CO ₂	42,469	40,402	32,825	30,771	28,619	●	
マーケット基準	t-CO ₂	42,469	40,402	32,825	30,771	28,619	●	
原単位	t-CO ₂ / 百万円	0.168	0.165	0.126	0.111	0.096		305-4
削減量	t-CO ₂	▲3,570	▲2,067	▲7,577	▲2,053	▲2,153		305-5
スコープ3	t-CO ₂	338,191	1,351,937	1,392,551	1,523,303	1,467,000		305-3
購入した製品・サービス	t-CO ₂	183,178	679,567	728,993	771,590	794,382	●	
資本財	t-CO ₂	34,891	29,189	26,478	19,506	63,900	●	
スコープ1,2に 含まれない燃料および エネルギー関連活動	t-CO ₂	4,844	7,210	7,551	7,321	7,444		
輸送、配送(上流)	t-CO ₂	25,508	23,971	26,025	25,333	29,054	●	
事業から出る廃棄物	t-CO ₂	未集計	3,291	3,155	3,928	4,526		
出張	t-CO ₂	未集計	2,160	2,720	3,354	3,453		
雇用者の通勤	t-CO ₂	未集計	5,246	4,944	4,993	5,069		
リース資産(上流)	t-CO ₂	非該当	非該当	非該当	非該当	非該当		
輸送、配送(下流)	t-CO ₂	未集計	1,861	1,884	1,820	1,734		
販売した製品の加工	t-CO ₂	未集計	1,123	1,268	1,217	1,264		
販売した製品の使用	t-CO ₂	65,675	586,396	578,561	670,818	540,922	●	
販売した製品の廃棄	t-CO ₂	24,096	11,923	10,973	13,422	15,252		
リース資産(下流)	t-CO ₂	非該当	非該当	非該当	非該当	非該当		
フランチャイズ	t-CO ₂	非該当	非該当	非該当	非該当	非該当		
投資	t-CO ₂	非該当	非該当	非該当	非該当	非該当		
スコープ1+2+3合計	t-CO ₂	380,661	1,392,339	1,425,376	1,554,075	1,495,619		305-4
マーケット基準	t-CO ₂	380,661	1,392,339	1,425,376	1,554,075	1,495,619		

エネルギー使用量	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	検証	GRI
電力使用量	GJ	579,269	543,478	578,036	571,385	577,414		
	(kWh)	(58,965,816)	(55,281,005)	(58,834,326)	(59,044,670)	(60,202,795)		
再生可能エネルギー使用量	GJ	110	111	191,961	220,427	248,975		
	(kWh)	(10,985)	(11,122)	(19,569,671)	(23,354,472)	(26,812,008)		
再生可能エネルギー比率	%	0.02	0.02	33.3	39.6	44.5		
ガス(都市ガス・LPG・LNG)	GJ	260,884	241,190	251,790	233,456	235,512		
燃料(灯油・軽油・A重油・ガソリン)	GJ	19,914	26,416	25,833	22,443	20,153		
合計	GJ	860,066	811,083	855,659	827,284	833,079	●	302-1
地域別	GJ	852,344	797,662	839,229	802,771	809,351		
日本	GJ	7,722	11,720	14,906	21,331	20,292		
中国	GJ	—	1,702	1,524	2,978	3,199		
東南アジア	GJ	—	—	—	148	178		
北米	GJ	—	—	—	56	59		
欧州	GJ	—	—	—	—	—		
エネルギー使用量原単位	売上高あたり GJ/ 百万円	3.40	3.32	3.28	2.99	2.79		302-3
再生可能 エネルギー 発電量	自社で消費した量 GJ	110	111	3,498	0	0		302-1
	(kWh)	(10,985)	(11,122)	(350,896)	(889,195)	(1,446,546)		
	販売した量 GJ	7,352	7,437	7,274	0	0		302-1
	(kWh)	(737,424)	(745,912)	(729,635)	(704,486)	(663,864)		
物流輸送量	千t x km	67,923	62,663	64,292	60,518	58,130		
モーダルシ フトの推移	鉄道利用コンテナ台数	1,912	1,951	1,282	1,429	1,529		
	船舶利用コンテナ台数	771	741	684	738	732		

集計範囲：スコープ1、スコープ2

2019年度：オカムラ、関西オカムラ、エヌエスオカムラ、山陽オカムラ、富士精工本社、杭州岡村伝動

2020年度～：オカムラグループ

スコープ3

2019年度：オカムラ単体

2020年度～：オカムラグループ

排出原単位：環境省「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース」

環境省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」温室効果ガス排出量の算定方法・排出係数一覧

産総研 IDEA Ver.2.3 (国立研究開発法人産業技術総合研究所 IDEA Ver.2.3)

環境省「電気事業者別排出係数」

「IGES List of Grid Emission Factors」

地球温暖化対策の推進に関する法律施行令

地球温暖化係数(GWP)

省資源・資源循環

検証欄の●印：2023年度データ第三者検証対象

水資源	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	検証	GRI
取水	m ³	218,435	225,022	233,770	196,104	191,058	●	303-3
上水道	m ³	50,307	49,095	51,073	45,568	41,606		
工業用水	m ³	49,245	50,089	53,118	48,760	50,471		
地下水	m ³	117,274	123,679	126,991	99,111	96,217		
雨水	m ³	1,610	2,159	2,588	2,665	2,764		
水使用量原単位	m ³ /百万円	3.36	3.56	3.33	2.85	2.68		
水の再生利用	m ³	474,119	332,920	294,363	353,128	330,414	●	
循環利用水量	m ³	474,119	332,920	294,363	353,128	330,414		
再生利用率	%	68.5	59.7	55.7	64.3	63.4%		
排水	m ³	196,262	196,495	213,012	179,937	178,983	●	303-4
公共水域	m ³	101,617	101,988	108,759	85,206	85,310		
下水道	m ³	94,645	94,507	104,253	94,731	93,673		
水消費量	m ³	22,174	28,527	20,759	16,167	12,075		303-5
水質管理	ton	6.55	6.82	8.37	6.27	8.77	●	303-2
BOD (生物化学的酸素要求量) 排出量	ton	6.55	6.82	8.37	6.27	8.77		
COD (化学的酸素要求量) 排出量	ton	0.07	0.04	0.15	0.04	0.06	●	

集計範囲：事業活動における水の使用量を対象とする。

2019年度～2020年度：オカムラ製造・物流拠点、関西オカムラ、エヌエスオカムラ、山陽オカムラ、杭州岡村伝動

2020年度～：オカムラ製造・物流拠点、関西オカムラ、エヌエスオカムラ、山陽オカムラ、富士精工本社、杭州岡村伝動

2022年度～：オカムラグループ製造拠点

資源	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	GRI
物質投入量	ton	143,639	136,852	167,783	158,750	158,963	301-1
原材料	ton	143,639	136,852	167,783	158,750	158,963	
補助材料	ton	3,985	4,195	4,507	4,341	4,212	
包装材料	ton	4,588	4,233	4,516	5,109	4,882	
合計	ton	152,212	145,279	176,806	168,199	168,057	
内再生材	ton	14,255	12,807	13,423	14,923	12,859	301-2
再生材の割合	%	9.4	8.8	7.6	8.9	7.7	
再生利用された製品と梱包材の割合	%	9.0	9.6	11.1	10.7	9.7	301-3

集計範囲：物質投入量

2019年度～2020年度：オカムラ製造拠点、関西オカムラ、エヌエスオカムラ、山陽オカムラ

2021年度～：オカムラグループ製造拠点

廃棄物	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	検証	GRI
廃棄物発生量	ton	22,170	20,985	23,035	27,678	28,676		306-3
産業廃棄物等発生量	ton	22,170	20,985	23,035	27,678	28,676		
金属くず	ton	13,789	12,719	14,800	14,087	15,032		
木くず	ton	2,624	3,028	3,081	2,800	3,011		
廃プラスチック類	ton	2,232	2,116	1,832	2,142	2,330		
汚泥	ton	1,402	1,203	1,389	1,263	1,222		
その他	ton	2,123	1,918	1,935	7,387	7,082		
有害廃棄物発生量	ton	0.0	0.0	1.7	1.7	0.0		
処分されなかった廃棄物	ton	20,043	18,357	20,318	25,047	25,876		306-4
再利用のための準備	ton	0	0	0	0	0		
オンサイト	ton	0	0	0	0	0		
オフサイト	ton	20,043	18,357	20,141	24,903	25,722		
リサイクル重量	ton	0	0	0	0	0		
オンサイト	ton	0	0	0	0	0		
オフサイト	ton	0	0	177	145	154		
処分された廃棄物	ton	2,127	2,622	2,717	2,631	2,800		306-5
焼却(エネルギー回収あり)	ton	1,881	2,401	2,475	2,415	2,618		
オンサイト	ton	1,881	2,401	2,475	2,415	2,618		
オフサイト	ton	221	199	192	174	94		
焼却(エネルギー回収なし)	ton	0	0	0	0	0		
オンサイト	ton	0	0	0	0	0		
オフサイト	ton	0	0	1	4	18		
埋立て	ton	26	22	49	37	70	●	
オンサイト	ton	26	22	49	37	70		
オフサイト	ton	0	0	0	0	0		
最終埋立処分率	%	0.12	0.11	0.21	0.14	0.25		
産業廃棄物等排出量	ton	20,259	18,872	20,560	25,263	26,058	●	
再資源化量	ton	20,263	18,556	20,511	25,225	25,987	●	
再資源化率	%	91.4	88.4	89.0	91.1	90.6		

集計範囲：産業廃棄物等(有価物を含む)

2019年度：オカムラ製造・物流拠点、関西オカムラ、エヌエスオカムラ、山陽オカムラ

2020年度～：オカムラグループ製造・物流拠点

生物多様性保全「ACORN」活動

資源	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	GRI		
木材調達量 MDF、PB (パーティクルボード) 含む	無垢材	m ³	595	1,006	1,093	230	311	301-1	
	ボード材	m ³	6,862	6,800	5,831	6,955	5,896		
	合計	m ³	7,456	7,805	6,924	7,185	6,207		
	地域別	日本	m ³	168	246	303	150		219
		中国	m ³	109	0	2	3		8
		東南アジア	m ³	2,099	1,258	1,581	1,349		1,802
		オセアニア	m ³	0	11	42	39		29
		北米	m ³	18	2	88	48		51
		欧州	m ³	240	339	662	161		337
		アフリカ	m ³	30	25	33	25		33
その他	m ³	4,792	5,924	4,212	5,410	3,729			

集計範囲：木材調達量

2019年度～2020年度：オカムラ製造拠点、関西オカムラ、エヌエスオカムラ、山陽オカムラ、杭州岡村伝動
2021年度～：オカムラグループ製造拠点

環境負荷の把握と環境汚染の防止

検証欄の●印：2023年度データ第三者検証対象

化学物質	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	検証	GRI		
大気汚染管理	NO x 排出量	ton	13.7	16.3	17.6	13.3	12.5	●	305-7	
	SO x 排出量	ton	1.8	2.2	2.3	2.3	2.3	●		
PRTR対象化学物質	取扱量	kg	288,302	251,243	271,277	193,828	337,305	●		
	排出量	kg	114,968	93,261	113,937	94,053	119,033	●		
		大気への排出	kg	113,847	92,839	113,335	93,506	118,889		
		公共水域への排出	kg	1,121	423	602	547	144		
	移動量	kg	10,723	9,042	9,823	7,611	27,025	●		
		下水道への移動	kg	318	78	290	244	214		
廃棄物への移動	kg	10,405	8,964	9,533	7,368	26,811				

集計範囲：大気汚染管理

2019年度～2020年度：オカムラ製造拠点、関西オカムラ、エヌエスオカムラ、山陽オカムラ、杭州岡村伝動
2021年度～：オカムラグループ製造拠点

PRTR対象化学物質

2019年度：オカムラ製造拠点、関西オカムラ、エヌエスオカムラ、山陽オカムラ、杭州岡村伝動
2020年度～：オカムラ製造拠点、関西オカムラ、エヌエスオカムラ、山陽オカムラ、富士精工本社、杭州岡村伝動

2021年度～：オカムラ製造拠点

オカムラグループの環境マネジメント

環境マネジメントシステム	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	GRI
ISO14001 マネジメントシステム登録数	サイト数	11	11	12	12	12	
	教育実施割合	%	100	100	100	100	
内部環境監査員有資格者数	人	22	20	21	26	26	
	従業員中の人数割合	%	0.62	0.52	0.55	0.67	
内部環境監査実施部門・拠点数	箇所	38	38	40	40	40	

環境コンプライアンス	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	GRI
環境法令違反	事故・訴訟発生件数	件	0	0	0	0	307-1
	罰則金発生件数	件	0	0	0	0	

環境会計

環境保全コスト

分類	主な取り組みの内容	単位	投資額					費用額				
			2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
1. 事業エリア内コスト	事業エリア内コスト集計	百万円	39.6	41.0	113.1	96.7	64.4	348.4	322.7	656.3	617.8	726.0
	1-1 公害防止コスト	百万円	0.8	2.5	29.2	28.6	37.5	102.8	94.5	109.2	102.6	115.8
	1-2 地球環境保全コスト	百万円	38.8	38.0	83.1	68.1	24.7	78.7	63.4	101.1	89.5	120.1
	1-3 資源循環コスト	百万円	0.0	0.4	0.9	0.0	2.2	167.0	164.9	446.0	425.8	490.0
2. 上・下流コスト	グリーン購入、製品・容器包装回収・リサイクル等	百万円	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	325.5	368.8	1.4	0.9	1.7
3. 管理活動コスト	環境負荷の監視・測定、環境マネジメントシステム運用等	百万円	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	167.0	143.7	152.4	142.2	143.1
4. 研究開発コスト	環境配慮製品開発、製造時の環境負荷低減等	百万円	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	194.6	219.7	239.8	202.6	262.0
5. 社会活動コスト	環境保全団体への支援等	百万円	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	2.8	2.3	2.2	2.7
6. 環境損傷対応コスト		百万円	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7. その他コスト		百万円	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.4
	合計	百万円	39.6	41.0	113.1	96.7	64.4	1,038.2	1,057.7	1,052.2	966.0	1,135.9

集計範囲：2019年度：オカムラ、関西オカムラ、山陽オカムラ、エヌエスオカムラ、オカムラ物流
 2020年度：オカムラ、関西オカムラ、山陽オカムラ、エヌエスオカムラ（オカムラに鶴見工場、物流を含む）
 2021年度～：オカムラ、関西オカムラ、山陽オカムラ、エヌエスオカムラ、富士精工本社、砂畑産業

環境保全効果

環境保全効果の分類	環境パフォーマンス指標	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	総エネルギー投入量	GJ	860,066	811,083	855,659	827,284	833,079
	売上高あたり	GJ/百万円	3.40	3.32	3.28	2.99	2.79
	水資源投入量	m ³	218,435	225,022	233,770	196,104	191,058
	売上高あたり	m ³ /百万円	0.86	0.92	0.90	0.71	0.64
	PRTR対象物質取扱量	kg	288,302	251,243	271,277	193,334	337,305
売上高あたり	kg/百万円	1.14	1.03	1.04	0.70	1.13	
事業活動から排出する環境負荷および廃棄物に関する環境保全効果	温室効果ガス排出量	t-CO ₂	42,469	40,402	32,825	30,805	28,619
	売上高あたり	t-CO ₂ /百万円	0.17	0.17	0.13	0.11	0.10
	PRTR対象物質排出移動量	kg	125,691	108,945	123,760	101,169	146,058
	売上高あたり	kg/百万円	0.50	0.45	0.47	0.37	0.49
	廃棄物等排出量	t	20,259	18,872	20,560	25,263	26,058
	売上高あたり	t/百万円	0.08	0.08	0.08	0.09	0.09
事業活動から産出する財・サービスに関する環境保全効果	廃棄物等最終処分量	t	26	22	49	37	70
	売上高あたり	t/百万円	0.0001	0.0001	0.0002	0.0001	0.0002
	グリーンウェーブ製品の売上高	百万円	99,637	97,934	106,479	113,403	117,489
	標準品売上高比率	%	80.2	78.3	81.6	84.1	81.5
	グリーン購入法適合製品の売上高	百万円	58,937	55,075	55,971	55,971	71,001
標準品売上高比率	%	61.5	59.3	57.4	57.4	62.7	
その他環境保全効果	回収製品・梱包材の循環使用量	t	706	1,530	1,638	1,463	1,246
	売上高あたり	kg/百万円	2.79	6.26	6.27	5.28	4.18
	事務用消耗品グリーン購入率	%	63.0	60.3	53.4	52.2	47.1
	モーダルシフトによる輸送量	台	2,683	2,692	1,966	2,167	2,261

当該期間の総額

項目	内容など	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
当該期間の投資額の総額	生産設備更新、省力化、工業燃料の代替ほか	百万円	440	524	1,144	2,769	19,615
当該期間の研究開発費の総額	新製品開発・製造時の環境負荷低減ほか	百万円	898	900	872	605	843

環境保全対策にともなう経済効果

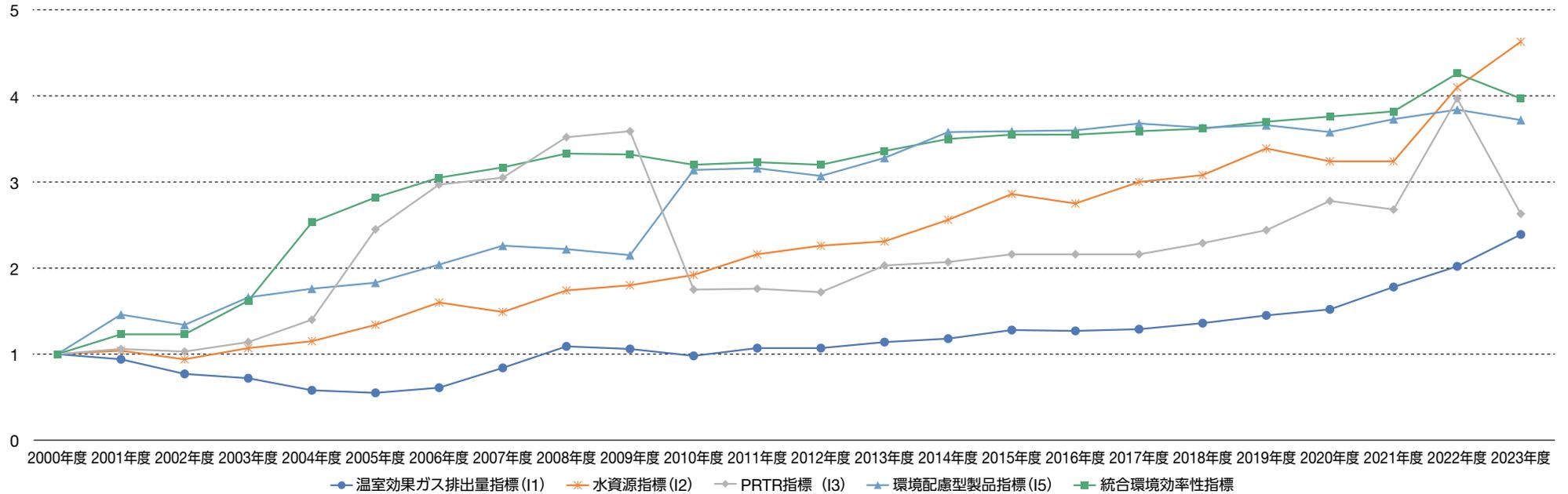
効果の内容	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
収益	主たる事業活動で生じた廃棄物のリサイクルまたは使用済み製品などのリサイクルによる事業補助金・助成金	百万円	272	253	676	687	916
	省エネルギーによるエネルギー費の節減	百万円	0	0	5	5	0
費用節減	省資源またはリサイクルにともなう廃棄物処理費の削減	百万円	1	3	3	1	1
	リユースによる経費節減	百万円	2	2	0	0	0
		百万円	15	11	11	2	3

売上高

	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
売上高(連結)	百万円	253,170	244,454	261,175	277,015	298,295

環境効率

環境効率性指標の推移



ウエイト

W1：温室効果ガス排出量	15.0%
W2：水資源投入量	5.0%
W3：PRTR取扱量	25.0%
W4：産廃最終処分量	20.0%
W5：GW製品売上高	35.0%

集計範囲

温室効果ガス排出量指標	2000年度～2020年度：オカムラ、関西オカムラ、エヌエスオカムラ、山陽オカムラ
	2021年度～：オカムラグループ
水資源指標	2000年度～2020年度：オカムラ製造・物流拠点、関西オカムラ、エヌエスオカムラ、山陽オカムラ
	2021年度：オカムラ製造・物流拠点、関西オカムラ、エヌエスオカムラ、山陽オカムラ、富士精工本社、杭州岡村伝動
	2022年度～：オカムラ製造、関西オカムラ、エヌエスオカムラ、山陽オカムラ、富士精工本社、杭州岡村伝動
PRTR指標	2000年度～2020年度：オカムラ製造拠点、関西オカムラ、エヌエスオカムラ、山陽オカムラ
	2021年度～：オカムラ製造拠点、関西オカムラ、エヌエスオカムラ、山陽オカムラ、富士精工本社、砂畑産業、杭州岡村伝動
環境配慮型製品指標	2000年度～：オカムラ

$$\text{■ 統合環境効率性指標} = \sum_{n=1}^n (I_n \times W_n)$$

※Wはそれぞれのウエイト

※売上高：連結売上高

- ・温室効果ガス排出量指標 (I1) = $\frac{\text{売上高} / \text{温室効果ガス排出量}}{\text{基準年度} (\text{売上高} / \text{温室効果ガス排出量})}$
- ・水資源指標 (I2) = $\frac{\text{売上高} / \text{水資源投入量}}{\text{基準年度} (\text{売上高} / \text{水資源投入量})}$
- ・PRTR指標 (I3) = $\frac{\text{売上高} / \text{PRTR取扱量}}{\text{基準年度} (\text{売上高} / \text{PRTR取扱量})}$
- ・産業廃棄物指標 (I4)*1 = $\frac{\text{売上高} / \text{産業廃棄物最終処分量}}{\text{基準年度} (\text{売上高} / \text{産業廃棄物最終処分量})}$
- ・環境配慮型製品指標 (I5) = $\frac{\text{環境配慮製品売上高} / \text{売上高}}{\text{基準年度} (\text{環境配慮製品売上高} / \text{売上高})}$

*1 2005年度より製造拠点でゼロエミッションを達成しているためグラフから省略